

にいがたこどものメンタルケア・ネットワーク

「こどものメンタルケア事例検討会（第13回）」開催要領

1 趣 旨

近年こどものこころの問題は、発達障害、虐待、いじめ、不登校、ひきこもりなど複雑化、多様化しており、新型コロナウイルス感染症の発症以降、学校・家庭生活の大きな変化は子どもたちにさらなるストレスを与え、問題をより重篤なものにしています。

このようなこどものこころの問題に対応するためには、医療、教育、保健福祉といった幅広い分野の専門家が連携し、支援を行うことが重要です。

本県では、令和3年度に児童精神ケア体制検討ワーキングを設置し、人材育成やネットワーク形成を図ってきたところであり、現在は「にいがたこどものこころのメンタルケア・ネットワーク」と称し、事例検討を行いながら、こどものこころの問題に関する理解を深め、対応力の向上を図るとともに関係者間の連携強化を行っています。

2 主 催

新潟県

3 共 催

新潟大学医学部

4 日 時

令和8年3月10日（火） 午後6時30分から午後8時まで

5 内 容

テーマ「心身症～小児科の上手な使い方～」

ミニレクチャー、グループワーク、質疑応答

※ こどもの様々な心理・社会的なストレスが大きく影響して生じる心身症について、子ども達の生活を支える小児科医である、済生会新潟病院の藤井 小弥太先生をお招きし、ミニレクチャーとグループワークを通して考えていきます。

6 講 師

済生会新潟病院 小児科部長 藤井 小弥太 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野 准教授 江川 純 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学講座 特任准教授 杉本 篤言 先生

7 対象者

県内の教育関係者（教員・養護教諭・SSW・SC・学校医等）、医療従事者（小児科医・精神科医等）、保健・福祉関係者、保育・幼児教育関係者等

8 開催方法

オンライン開催（使用ツール Zoom）

9 申込み方法

「新潟県電子申請システム」下記の URL もしくは二次元バーコードからお申込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=28760

10 申込期限

令和8年3月4日（水）午後5時まで

11 注意事項

- ・ 1 端末を共有して複数名での視聴はご遠慮ください。
- ・ 開会から閉会まで通して参加していただくことを原則としますので、一部分のみの参加はご遠慮ください。
- ・ 事務局を除き、参加者にはZoomのカメラをオンとし、顔を映して参加いただきます。マイク及びカメラ機能のないPC等の端末での参加はできません。



- ・ 特にグループワーク中はカメラ・マイクをオンにして意見交換ができるようにしてください。
- ・ ただし、グループワーク中に講師や事務局がカメラをオフにして、ブレイクアウトルームを巡回させていただきますことをご了承ください。

12 これまでの事例検討会について

- ・ これまでの事例検討会の開催内容やアンケート結果等について、県ホームページに掲載しています。下記 URL をご参照ください。

県ホームページ「にいがたこどものメンタルケア・ネットワーク こどものメンタルケア事例検討会について」

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shougai Fukushi/niigata-kodomono-menntarukea-netowarku.html>

【講師ご紹介】

藤井 小弥太 先生

平成 21 年、新潟大学医学部医学科卒。新潟大学小児科医局に所属しながら、佐渡総合病院、鶴岡市立荘内病院、済生会新潟病院、六日町病院、新発田病院、静岡県立こども病院に勤務。令和 3 年から再び済生会新潟病院に勤務し、こどもの心の病にアプローチする「こころの外来」を立ち上げる。現在は小児科部長を務める。専門は小児心身症。

江川 純 先生

子どものこころ専門医・指導医、日本小児精神神経学会認定医、新潟県児童精神ケア体制検討ワーキングチーム委員。

平成 15 年、新潟大学医学部医学科卒。平成 20～21 年、あいち小児保健医療総合センターに国内留学し杉山登志郎先生に児童精神科診療を学ぶ。自閉スペクトラム症 (ASD) の病態研究に従事し、平成 30 年～令和 2 年にマイアミ大学神経外科学 Vance Lemmon 教授の研究室へ留学。その後も県内の複数の施設で児童・発達障害の専門外来を担当しつつ、ASD の病態研究を続けている。

杉本 篤言 先生

子どものこころ専門医・指導医、日本小児精神神経学会代議員、カウンセリングオフィス VISION 代表、NPO 法人新潟トラウマ治療協会理事長、新潟県児童精神ケア体制検討ワーキングチーム委員。

新潟大学医学部医学科卒。平成 22～23 年、あいち小児保健医療総合センターに国内留学し杉山登志郎先生に児童精神科診療を学ぶ。平成 26～30 年、新潟県立精神医療センター児童精神科病棟長。ウェアラブル表情筋筋電図によるヒトの快・不快感情分析研究、いじめ予防・介入国際共同研究等に取り組んでいる